



企業長 田中 正

【君津中央病院企業団企業長新任ご挨拶】

このたび、君津中央病院企業団企業長を拝命しました田中正と申します。私は、1986年4月に整形外科部長として当院に赴任し、2012年からの3年間千葉市の病院に勤務した期間を除き、30年あまり奉職しております。微力ではございますが、企業団のため今後もなお一層頑張っていきたいと決意を新たにしているところです。

当企業団は、君津中央病院（本院）、大佐和分院、附属看護学校の3事業を運営しています。本院は内房地区の基幹病院として多くの重要な役割を担っており、がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、救急医療、周産期・小児医療などの高度医療に力を入れ、特に救急医療ではドクターヘリを有し、君津地区だけでなく県内広域をカバーしています。さらに当院は医学教育にも力を入れ、毎年優れた医師や看護師を育成しております。

日本は高齢化が急速に進行し、団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者となり国民の医療・介護の需要が最大となる、いわゆる2025年問題に直面しております。現在、国の主導で地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を実現すべく、地域単位で取り組んでいるところですが、当院は内房地区唯一の高度急性期病院として、また地域医療支援病院としての役割をしっかりと果たしていきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



認定第JC295-3号
審査体制区分4(ver.1.0)
2014.8.23~2019.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が適切で質の高い医療を安心して享受できるよう、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者機関です。

基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

目次

1 ページ：企業長新任あいさつ

2 ページ：気胸について（呼吸器外科）

3 ページ：神経内科の紹介

4 ページ：歯科衛生科の紹介

5 ページ：9階西病棟の紹介

6 ページ：附属看護学校及び企業団よりお知らせ

7 ページ：大佐和分院よりお知らせ

8 ページ：産科病棟の紹介

病気のおはなし 気胸について

皆さんは“ききょう”と聞いて何を連想しますか？ 花の“桔梗”を思い浮かべる人が多いかもしれません。はたまた故郷へ戻る“帰郷”という人もいるでしょう。しかし今日は肺の病気、“気胸”のお話です。

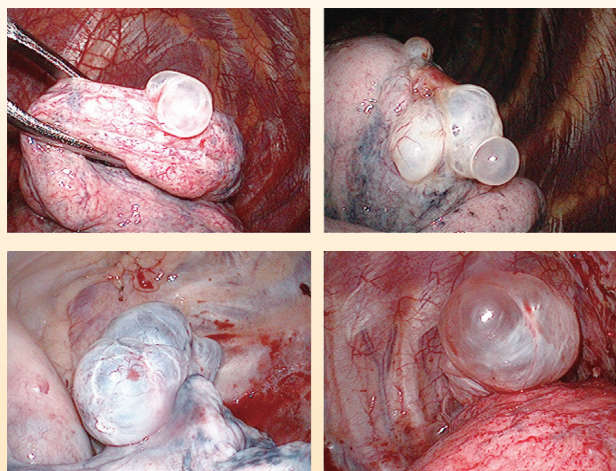
 肺は胸壁、横隔膜、縦隔で囲まれた胸郭というスペース一杯に広がる風船のような臓器です。その働きは皆さんご存知の通り、空気中の酸素を取り込み、身体の中で生じた二酸化炭素を吐き出すガス交換です。気胸とは何らかの理由で肺という風船がパンクした状態を指し、交通事故などで胸を強く打撲したり、折れた肋骨で肺が傷ついたりして起こる外傷性気胸と、特に明らかなきっかけもなく突然起こる自然気胸とに分類されます。外傷性気胸はいわゆる怪我ですから注意すれば避けることができますが、自然気胸は病気ですから気をつけようがありません。通常はブラやブレブと呼ばれる嚢胞(のうほう)(空気の貯まった袋)が主として肺尖部(肺のてっぺん)にできて、これが破けることにより気胸が生じます。どうしてブラやブレブができるのか、またブラやブレブがあっても破ける人と破けない人がいるのはなぜか、という基本的な疑問は未だ解決されていません。

 気胸は別名『イケメン病』とも言われ、若くて背の高い痩せ型男性に好発することが知られています。例えば嵐の相葉くんとか俳優の佐藤健くんとか……。また梅雨時や台風の前後などに患者さんが集中する印象もあります。その症状は呼吸困難感と胸痛で、パンクした肺の潰れ方が軽度なら外来で様子を見るだけで済みますが、潰れ方が中等度から高度の場合は入院し、胸に管を入れて肺の外に漏れた空気を排気する(胸腔ドレナージ)治療が必要となります。

 気胸は非常に再発しやすい病気で、初回気胸を来たし経過観察や胸腔ドレナージで治癒した場合の再発率はおよそ50%、2回目に気胸となり経過観察や胸腔ドレナージで治癒した場合の再発率は90%前後とされています。一方、手術を受けても再発率は5-10%程度あり、一般的に初回気胸の治療は経過観察や胸腔ドレナージ、再発気胸の治療は手術をお勧めしています。

 通常、気胸だけでは命に関わることは少なく、良性の病気と言えますが、左右同時に高度の気胸が起されば窒息状態になりますし、片側でもどんどん空気が漏れ続けると緊張性気胸と呼ばれる病態になり心臓を圧迫し循環不全を来し死に至ることもあります。また肺リンパ脈管筋腫症やバート・ホッグ・デュベ(BHD)症候群と言った特殊な病気が原因で起こる気胸もあり、奥が深い疾患です。

(呼吸器外科部長：飯田 智彦)





診療科 神経内科の紹介



神経内科とは

神経内科は内科領域の中で脳や脊髄、末梢神経、筋肉の病気を診療する診療科です。症状としては頭痛、めまい、ふらつき、身体の一部の脱力、しびれなどの感覚の異常、手足が勝手に動いてしまう（不随意運動、けいれん）、歩きにくい、物が二重に見える、呂律が回らない、物忘れ、意識障害など多彩です。これらの症状が主な症状である場合には神経内科領域の病気の可能性があり、神経内科で診療することになります。しかしこれらの症状の原因が手術を要する病気の場合には脳神経外科を紹介します。骨・関節の病気が原因であれば整形外科を紹介します。

よく神経内科はわかりにくいと言われる。特に間違えられやすいのが精神科と心療内科です。一般に精神科は気分の変調（うつ病や躁病、統合失調症）、心の問題を扱う診療科です。心療内科は様々な身体症状の原因が精神的な問題に起因する場合に診る診療科です。

代表的な神経内科の病気は以下の通りです。

- ・脳卒中（脳梗塞、脳出血、一過性脳虚血発作など）
- ・髄膜炎・脳炎
- ・神経難病
 - パーキンソン病
 - 脊髄小脳変性症
 - 多系統萎縮症
 - 筋萎縮性側索硬化症
 - 多発性硬化症
 - 重症筋無力症など
- ・てんかん
- ・末梢神経疾患・筋疾患
- ・認知症（アルツハイマー病など）

君津中央病院には5名の神経内科医師が勤務しています。当地域（木更津、君津、富津、袖ヶ浦）で5名もの神経内科医が勤務する施設は当院だけです。従って入院での診療や、神経難病のように他の医療機関では対応が困難な神経疾患は当院の神経内科で診ることになります。

外来診療

外来診療は平日の月曜から金曜日までの午前中です。新患担当と再来担当の二人の医師で診察しています。通院ができない患者さんには訪問診療を行うこともあります。また顔面けいれんや痙攣性斜頸にボツリヌス治療を行っています。

昨年度は初診患者さんが1,777名、再診患者さんが6,933名でした。

入院診療

昨年度は309名の入院がありました。内訳は脳卒中が186名、てんかんが43名、髄膜炎などの感染症が14名などで、過半数が脳卒中の患者さんです。脳卒中の入院は全て緊急入院で、当院で急性期治療を行います。急性期治療が終了し、病状が落ち着き積極的なリハビリテーション治療が必要になった時期は、回復期リハビリテーション病院に転院してリハビリテーション治療を継続していただき、在宅生活を目指します。

また、外来患者さんで、慢性期の脳卒中などで症状が固定し、高血圧や高脂血症などの合併症の治療が中心の場合には、近在の医療機関に診療をお願いしています。限られた医療資源を有効活用するために、患者さんにもこうした医療連携に理解と協力をお願いしています。



（地域医療センター長（兼）神経内科部長：
八木下 敏志行）

医療技術局 歯科衛生科の紹介

当科(歯科衛生科)は歯科衛生士9名と医療助手2名で構成されており、外来25(歯科・歯科口腔外科)にて、歯科医師3名、クラーク1名と共に勤務しています。

歯科衛生士の業務は、親知らずの抜歯・腫瘍の摘出や骨折などの口腔外科処置の歯科診療補助と、病院内歯科という特性上持病をお持ちの患者さまも多く受診され、その方々のむし歯や歯周病の治療、入れ歯の作製・調整などの一般歯科治療の歯科診療補助も行っています。

近年、私たち歯科衛生士の専門分野である専門的口腔ケアが注目されています。一般的に行われている口腔ケア(歯みがきなど)とは異なり、歯科衛生士が専門的知識を用いて行うケアを専門的口腔ケアといいます。手術の前後やがん治療であるがん化学療法・放射線治療時の口腔ケアに対し、専門的口腔ケアの依頼が増えてきています。専門的口腔ケアを行うと、全身的には手術後の誤嚥性肺炎や血行性感染の予防、口腔内としては手術創(口腔・咽頭の手術

等)の感染予防や各種口内炎・粘膜炎、二次感染の予防に効果があります。患者さまに口腔ケアの方法や痛みに対する対処法などの指導と、歯科衛生士による専門的口腔ケアを行っています。

当科と歯科口腔外科は、原疾患を治療している科や放射線治療室(リニアック)・がん化学療法室また地域のかかりつけ歯科医院と、全身状態や服薬状況、現在の原疾患への治療内容などの情報を共有し、原疾患に対する治療が口腔内トラブルにより中断されることが少なくなるよう努めています。当科は連携を図る際の中継役も担っていると考えています。

口腔ケアの大切さ、必要性については看護学校でも講義を行っています。歯科衛生士が看護学生に講義することは全国的にも例を見ない取り組みのようですが、連携という流れだけでなく、中身の伴った口腔ケアを当地域に広めていくことが必要であり、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えます。



看護学校での口腔ケア実習の様子



歯科衛生科スタッフ一同

(歯科衛生科長：西濱 彩乃)

Information

がんサロンのお知らせ

がんサロンは、同じような悩みを持つがん患者さんやご家族が集まって、それぞれの体験や思いを語ることができる場所、病気や療養について情報交換ができる場所です。新しい出会いや抱えている悩みや問題を解決する糸口が見つかるかもしれません。ぜひ一度お越しください。

日 時	平成30年5月18日(金)、6月15日(金) 毎月第3週金曜日 14時30分から16時まで
場 所	2階患者図書室 ※予約はいりません。費用無料です。
お問い合わせ先	☎0438-36-1071 担当：ソーシャルワーカー 保坂 まで





看護局 9階西病棟の紹介



9階西病棟は、消化器内科と血液腫瘍内科の混合病棟です。両科とも急性期・慢性期・終末期の患者さまが入院しています。このように、様々な病状にある患者さまに対して、病棟では他職種と連携し、専門性を活かした安全で効果的な看護が提供できるように、今年度力を入れていることが3つあります。



また、病棟職員に対し働きやすい職場環境づくりをすることにも力を入れています。

当病棟の強みは、職場の人間関係がよく団結力があるところだと思います。そのため、退職者は毎年少なく産後復帰希望も多い部署です。



緩和ケア・がんサポートチームとの連携

患者さまに合わせた症状緩和や精神的ケアを検討できるように、緩和ケア認定看護師・チームメンバーが毎週回診に訪れます。助言を参考に、主治医と病棟看護師がケアを提供していけるよう努力しています。

良い医療・看護を提供するためには良好な職場環境が関係すると思います。これからも患者さま・ご家族さまが安心して入院生活が送れますようにスタッフ一同努力してまいります。

退院支援

入院から退院まで、安心した入院生活が送れるように、経済面や生活背景を踏まえ、毎週カンファレンスを行っています。参加者は、医師・看護師の他、訪問看護室・地域連携室・ソーシャルワーカー・リハビリ担当者です。また、薬剤師・栄養士からの個別指導も必要な方へ行っています。



認知症認定看護師との連携

当病棟には、認知症認定看護師が在棟しています。そのため、認知症の種類や程度に応じた指導や提案を受け、看護提供できるよう頑張っています。

(9階西病棟看護師長：榎本 正美)

君津中央病院附属看護学校及び企業団より

戴帽式

平成29年11月24日(金)、第44回生の戴帽式を挙行了しました。当日は戴帽生60名のほか、在校生117名、保護者80名、来賓者16名、学校病院関係者50名が見守る中、戴帽生1人1人にナースキャップが与えられました。



戴帽式の様子

戴帽式を終えての学生の感想

戴帽式を終え、ナースキャップを頂けたことへの嬉しさとこれからの実習への不安を感じました。自分の気持ちともう一度向き合い意志を再確認して専門職に就くことへの責任の重さを感じ、より努力しなければならないと考えました。誓いの言葉を心に留め、自らが理想とする看護師になることができるよう頑張っていきたいです。(F・E)

誓いの言葉を言い終わろうそくの灯火を見ると、自分が看護師になるという自覚と重い責任を感じました。戴帽式では多くの方からお祝いの言葉を頂き、感謝の気持ちでいっぱいになりました。私達がいかに周りの人に支えられているかを痛感しました。看護師となっても周りの人に感謝する気持ちを持ち続けたいです。(R・S)

入学して7ヶ月が経ち、戴帽式を終えることができました。壇上に上がり、ご来席頂いた大勢の方々と拝見し、こんなにも多くの人に支えられていること改めて実感することができました。「誓いの言葉」にもあるように、関わる多くの人への感謝の気持ちを忘れずに、今まで以上に努力しよう、心をあらたにすることができました。(N・F)

千葉県警察学校長感謝状授与

平成29年12月26日(火)、千葉県警察学校の大津賀学校長から本校の柴光年学校長に感謝状が贈呈されました。これは、今年度で2年目となりますが、千葉県警察学校初等科学生の研修に対し、今回は6日間で総勢221名の若手警察官を受け入れ、看護体験学習を通じ情操教育に協力したことによる感謝状です。

(看護学校事務長：三富 敏史)



Information

平成30年3月君津中央病院企業団議会定例会について

平成30年2月26日から3月9日までの12日間の会期で開かれました。審議結果は以下のとおりです。

議案番号	件 名	結果
議案第1号	君津中央病院企業団職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第2号	平成29年度君津中央病院企業団病院事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第3号	平成30年度君津中央病院企業団病院事業会計予算について	原案可決

(事務局庶務課)

大佐和分院よりお知らせ

人間ドック受付中
TEL 0439-65-1251

こんにちは、大佐和分院訪問看護です。

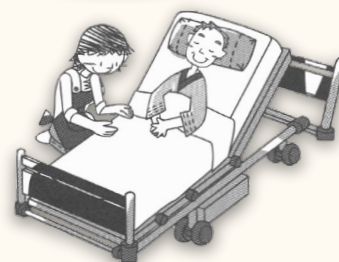
大佐和分院では訪問看護師3名でがんばっています！

今回は訪問看護サービスについてお知らせします。

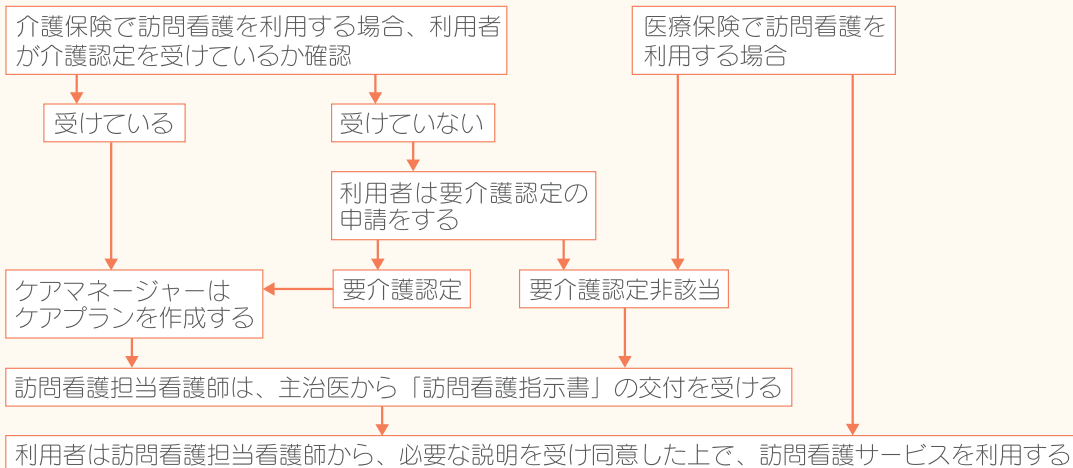
訪問看護をご希望の方はまずは大佐和分院に受診してください。

主治医が決まらなないと訪問看護は始められません。

訪問看護を介護保険で利用するか医療保険で利用するかは年齢、病状や介護度にもよりますので、医師に受診のうえご相談ください。



〈訪問看護サービスを利用するまでの流れ〉



〈提供できるサービス内容〉

- 1 状態観察 2 医師との連携 3 看取り 4 緩和ケア 5 カテーテル管理 6 在宅酸素療法の管理
7 排泄の援助 8 療養環境の調整 9 家族の相談、支援など

在宅療養は不安なことだらけだと思います。ご家族だけで抱え込むのは大変です。ご相談にきていただければ
（看護係長：須藤 淳子）

外来診療日の一覧

平成30年4月1日改正

国保直営君津中央病院大佐和分院
〒293-0036 富津市千種新田710番地 TEL: 0439-65-1251

診療科		受付時間等		診察室	月	火	水	木	金
					医師	医師	医師	医師	医師
内科・小児科	午前	受付時間 診療時間	8:00~11:30 9:00~	1	寺林			寺林	寺林
				2	田中	田中	三浦	田中	田中
				3		北湯口	北湯口	北湯口	北湯口
				5	安達		安達	【毎月最終木曜日】 桐谷	安達
糖尿病・内分泌・代謝内科 （予約のみ）	午前	受付時間 診療時間	予約時間に 準ずる	内科・糖内代謝 外来					【予約のみ】 武田
神経内科 （予約のみ）	午前	受付時間 診療時間	予約時間に 準ずる	1		【予約のみ】 藤沼			
外科	午前	受付時間 診療時間	8:00~11:30 9:00~	2			三浦		
整形外科	午前	受付時間 診療時間	8:00~11:30 9:00~	5		【予約患者有】 保住			
皮膚科	午後	受付時間 診療時間	12:00~15:00 14:30~	5		【予約患者有】 田頭			
泌尿器科	午前	受付時間 診療時間	8:00~11:30 9:00~	泌尿器科 外来		【予約のみ】 荒木		【予約のみ】 片海	
	午後	受付時間 診療時間	12:00~15:00 13:30~					【予約のみ】 片海	
眼科	午前	受付時間 診療時間	8:00~11:30 9:00~	眼科 外来	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木
	午後	受付時間 診療時間	12:00~15:00 13:30~		佐々木		佐々木	佐々木	
循環器内科 （超音波検査） （予約のみ）	午後	受付時間 診療時間	予約時間に 準ずる	エコー室	【予約のみ】 山本・関根・芳生 外池・鹿田 【医師交代制】				
人間ドック （予約のみ）	午前	受付時間 診療時間	予約時間に 準ずる				【予約のみ】 田中		【予約のみ】 山倉

産科病棟の紹介（正常な自然分娩も受入れています）

当院では正常な自然分娩からハイリスクな分娩まで幅広く質の高い医療を提供し、安全で快適な妊娠・出産・育児を支援しています。

認定を受けたアドバンス助産師によるサポート

アドバンス助産師とは、助産実践能力が一定水準に達していると認定された助産師であり、5年ごとの更新があることから日々専門能力を高める事が求められています。

また、「自立して助産ケアを提供できる助産師」として公表することができ、現在、当院では10名の助産師がアドバンス助産師の認定を受けております。

充実した母親学級及び外来妊婦個別相談

当院の母親学級は1コース4回、助産師を中心として、栄養士・歯科衛生士・小児科医師の講義と体験が盛り込まれており、正しい知識を得ることができます。母親が中心ですが、父親の参加も可能です。また、助産師が交替で外来妊婦個別相談を開催しています。「妊娠・出産についての正しい知識を得て、積極的に心と身体の準備をして幸福を感じる体験をより一層素晴らしい体験にしよう」をスローガンに、妊婦さん一人ひとりに極め細やかな相談ができる場を提供しています。

出産当日には、母親学級や外来妊婦個別相談等を通じて顔見知りとなった助産師が病棟にてお迎えいたします。

開催日	母親学級の内容
第1回目 第1月曜日	妊娠中の保健 妊娠の生理・定期健診の必要性
第2回目 第2月曜日	赤ちゃんの衣類と育児用品 口腔内の衛生・妊婦の栄養
第3回目 第3月曜日	妊婦体操と弛緩法 分娩経過と呼吸法
第4回目 第4月曜日	入院の時期と必要物品 入院中の生活

外来妊婦個別相談

受付時間 平日 午前9：30～12：00

充実した新生児のフォロー

出生した新生児は、入院期間中に新生児科医師による検診を週3回行い、気になることがあった場合は24時間体制で診察を行っています。また、整形外科医師の股関節脱臼の診察やその他必要に応じ、専門医師の診察を受けられることも総合病院の利点です。

なお、当院では退院時に出生直後の赤ちゃんの写真と、産声の「うぶ声アルバム」と「ダイアリー・臍の緒」をプレゼントいたします。「うぶ声アルバム」は特にお母さん方に好評を頂いております。

地域周産期母子医療センターとしての役割

当院は地域周産期母子医療センターとして、木更津市・君津市・富津市・袖ケ浦市の4市を中心とした周産期医療の中核を担い、24時間体制で地域の産院からの母体搬送を受け入れ、高度で適切な周産期医療を提供しています。産科・新生児科病棟は産科30床・NICU(新生児集中治療室)9床・GCU(新生児回復期病室)32床で構成され、年間で400件前後の分娩を取り扱い、NICU・GCUでは年間250名前後の特別なケアが必要とされる新生児を受入れています。

これからもスタッフ一同地域の皆様の声を大切に、良質で安全な医療・看護を提供して地域周産期母子医療センターの役割を果たしていきたいと思っております。

（5階東産科病棟師長：アドバンス助産師
溝口 久代）

